

忘

ボウ
わすれる

16年

7画
一 七 七 七 七 七 七 忘

なりたち なくなる意味の亡と心との会意形声字。心の中にあつた物事がなくなるといふ意味の字で、「わすれる」ことを表した字。



【いみじゆく】

▼わすれる。
忘却：忘れ去ること。
忘れ：①すっかり忘れること。
②忘れてなくすこと。例 忘失書類。

忘恩：受けた恩を忘れ去ること。用例 忘恩の振る舞い。

忘我：夢中になつて我と我が身を忘れること。用例 忘我の境地に入る。

忘年会：一年の終わりに、その年の苦勞を忘れて楽しむために催す宴会。

健忘症：もの忘れがひどくなる病氣。

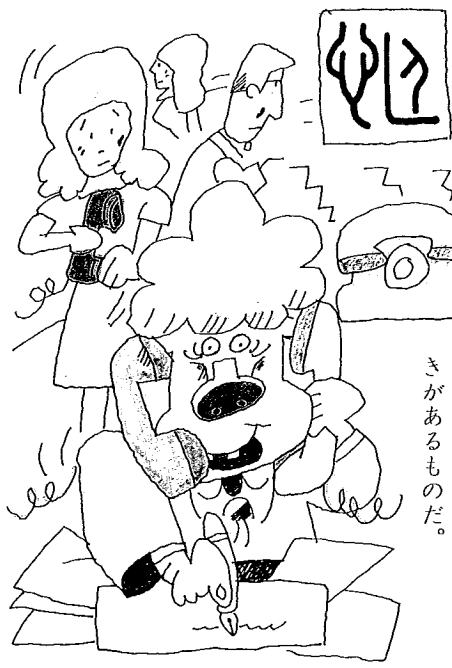
備忘録：忘れた時の用心に要点をメモしておく手帳。

忙

ボウ
いそがしい

6画
一 一 一 一 忙

なりたち 忘と同じく、なくなる意味の亡と心との会意形声字。大事な事も忘れてしまうほど「いそがしい」ことを表した字。



【いみじゆく】

▼いそがしい。 閑 忙殺：非常に忙しいこと。 用 例 仕事に忙殺される。(仕事で非常に忙しい。)

多忙：非常に忙しいこと。 用 例 仕事で一日多忙だった。

繁忙：用事が多くて非常に忙しいこと。 用 例 仕事で繁忙を極めた。

さんこう 忙中閑あり 忙しいなかでも、少しはひまなどがあるものだ。

妄

ボウ・ボウ
ムウ・ボウ

6画
一 一 一 妄 妄 妄

なりたち 盲(見えない)の意味の亡と女との会意形声字。物事の正しい判断力がない女という意味の字。転じて、広く「道理に合わないこと」で、ため「うそ」などの意味に使う。



【いみじゆく】

▼みだりに。むやみやたらに。妄想：実際にはないことを事実であるかのように思いこむこと。例 被害妄想

妄動：分別のない行動。 用 例 軽挙妄動する。(軽はずみで分別のないふるまいをする。)

妄信：よくたしかめもしないでむやみに信じこむこと。

▼道理に合わない。でたらめ。妄語：仏教用語で、嘘(うそ)をつくこと。五戒の一つ。

虚妄：うそいつわり。事実とまるで違うこと。

迷妄：物事の道理に暗いために抱く間違つた考え。心の迷い。 用 例 迷妄を打破する。

よみかた 妄言・妄執・妄念

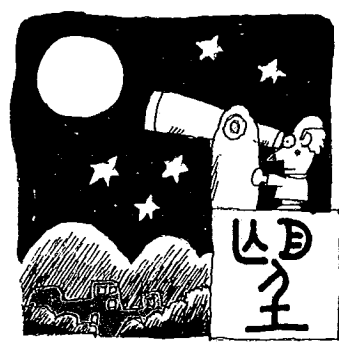


望

ボウ・モウ
のぞむ

11画
一 一 一 一 一 望 望 望

なりたち 地上に人が立つ形の壬と月と亡との会意形声字。人が立つて月を「のぞみ」ながめることを表した字。遠くながめること。また、「のぞみ」ないう「意味」にも使う。亡はこの字の音を示す。



【いみじゆく】

▼遠く見渡すこと。望郷：遠方の地に居て故郷をなつかしむこと。 用 例 望郷の念にかられる。

展望：①遠くまで広いけしきを見渡すこと。また、そのながめ。②広く世の中の動きを見渡すこと。 用 例 長期的な展望に立つて計画する。

▼のぞみながう。願望：のぞみ。ねがい。 用 例 長年の願望がかなう。

大望：身分や年齢につりあわない大きなのぞみ。 用 例 天下取りの大望を抱く。

▼人々から仰がれる。人気。名望：人々の信頼があつて、評判が高いこと。 例 名望家

▼満月。望月(もちづき)。

よみかた 望遠鏡・希望・志望・所望・声望・切望・絶望・待望・本望・野望・有望

妄